



かけはし

令和3年新年祈願祭・伝統の寒稽古完遂!

剛 魂 健 を誓う!



— 新年祈願祭 —

1月10日(日)に解脱会御霊地の天神地祇太神社殿に於て、コロナウイルス感染防止対策をとりながら、先生方をはじめ少年部・一般部門下生並びに保護者の参加のもと令和3年度新年祈願祭が執り行われました。参加者は、凍えるような寒さをこらえつつ声高らかに道場訓を奉唱し自らの心を引き締め、特に本年は創立50周年の佳節を迎えることから一層の精進を誓い、更にそれぞれが明日からの寒稽古完遂を祈願して滞りなく祈願祭が終了しました。

— 寒稽古 —

1月11日(月)～15日(金)の夕刻に3部門に分かれて感染防止もさらに徹底し、恒例の寒稽古が実施されました。少年部の稽古は、徹底した基本を一つ一つ丁寧に確認しながら、厳しい稽古を通して毎日「自己認識・自己反省」を重ねていくことの大切さを学びました。更に一般部においても、前半は徹底した基本稽古が実施され、改めて基本の大切を学ばせて頂き、それをもとに後半は相互の地稽古で爽やかな汗を流しました。今年も各学年、各世代で目標を持ち、自分自身と毎日向き合いながら気力、体力を養い、充実した寒行となりました。これも偏に先生方は勿論の事、保護者や家族の支えのお蔭であり、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。門下生諸君には、今回の経験を活かし今年一年の稽古、そして生活に役立てて欲しいと願います。



行 事 予 定

《3月》

○ 館の行事

※現在新規入門生（第53期生）受付中 10時～17時（月曜日休館）

7日（土） 剣道体験教室（14時00分～14時30分）

14日（日） 創立49周年記念館内大会（記念式典・大将交代式・卒業生壮行）

8時30分集合、9時開会～11時30分閉会 ※詳細は要綱を確認下さい。

※感染予防の為、一般部・OB門下生は不参加

21日（日） 剣道体験教室（14時00分～14時30分）

27日（土） 剣道体験教室（14時00分～14時30分）

28日（日） 剣道体験教室（14時00分～14時30分）

※稽古休み 3月13日（土）館内大会前日準備の為

3月30日（火）～4月3日（土）まで春休み

○ 大会・審査会

4日（木） 埼玉連月例稽古会（上尾）

7日（日） 段位審査会（四、五段・大宮）

13日（土） 六段・七段・八段受審者講習会（一般・上尾）

14日（日） 第68回全日本剣道選手権大会（一般・長野）

《4月》

○ 館の行事

14日（水） 第53期生・稽古開始（初心者クラス16時～）

17日（土） 後援会通常総会（11時～・対象・正会員）

※稽古休み 4月17日（土）後援会総会の為

○ 大会・審査会

1日（木） 埼玉連月例稽古会（上尾）

4日（日） 第34回全国健康福祉祭剣道交流大会予選会（午前・上尾）

4日（日） 第13回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会予選会（午後・上尾）

11日（日） 剣道伝達講習会（上尾）

15日（木） 女子剣道講習会（上尾）

18日（日） 地区講習会（一般・朝霞）

29日（木・祝）第68回全日本都道府県対抗剣道優勝大会（大阪）

29日（木・祝）六段審査会（京都）

30日（金） 七段審査会（京都）



年 頭 に あ た り

館長 田中 宏明

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスの世界的感染症拡大の影響を受け、私達はこれまで経験したことのない大きな環境の変化に翻弄され、大変な一年を過ごすこととなりました。日々の平穏な日常を奪われ、さまざまな困難と向き合い、今現在も予断を許さない厳しい状況下にあります。

そのような中で、錬心館は1月10日（日）に新年祈願祭並びに稽古始めを執り行い、翌11日からは恒例の寒稽古を実施して一年の始めとしました。私達は、コロナ禍で多くのものを失いましたが、同時に多くのことを学び得ました。特に「今まで当たり前であったことが、実は当たり前ではなかった。何より尊く有難いことであった」と心から感じる事が出来たことは、何ものにも代え難い大切な気づきでありました。門下生諸君が毎日の稽古で奉唱する「道場訓 国土の大御恩・父母の御恩・師の御恩・社会の御恩・天地宇宙万物の御恩 報じても報じ難し」この意味を再確認し常に心に留めて、本年も勉強に剣道に更に努力して頂きたいと心より願うものであります。

さて、過保護という言葉が使われ始めて随分と経ちますが、調べてみると1970年（昭和45年）前後から使われ始めたようで、過保護とは「子どもが1人でできることに対して過剰に世話をしている状態」を指すとありました。子供が不快感を示す事に過度に同情して避けさせたり、子供が望むことを好き放題させた結果、礼節も感謝の心も育たず、逆に自信や自己愛が肥大し過ぎて他者を尊重しない身勝手な人間に育つ傾向にあり、過保護や過干渉は虐待に等しいというくらい子供に悪影響を及ぼすと言われています。

「今さら過保護？」と思われるかもしれませんが、最近、私から見ると当たり前というか普通のことであっても、親から見ると「可哀そう」と思うのか、すぐに手を出してあれこれ世話をしているような場面を多く目にするからです。一人で出来ることは心配でも少し時間が掛かっても自分でやらせることが大切です。子供はつまづきながら失敗しながら、その経験を通して成長していくのです。そのことを「可哀そう」と過剰に世話をすることは、様々な子供の成長を妨げることに繋がります。更に最近は祖父母の過保護が増加し、両親よりも更に問題になっています。孫の喜ぶ顔が見たいと手放しで何でも買ってあげる祖父母が大変多くなっていると聞きますが、これは全くの無意味と言っても過言ではありません。すぐに飽きて又「あれが欲しい、これも欲しい」と際限がなくなり歯止めが利かなくなるからです。その依存心の強い甘えの構造は大人になっても治りません。今の子供達には、自分で考え、自分で行動すること、多くの友達とぶつかりながらも一緒に時間を共有すること、何より自分の足で歩こうとする気構え、自立心を養っていくことが肝要です。そして、そういう環境を作ってあげることこそが、我々大人の役目であると信じます。ご両親並びに祖父母の皆さん、子が孫が本当に可愛かったら子供達の将来の為にくれぐれも肝に銘じて頂きたいと願うものであります。

本年、解脱錬心館は創立50周年を迎えます。ご承知の通り、創立30周年を前にして「日本一の道場」と言われるような錬心館にしようと門下生・指導者・保護者が同心協力して努力を積み重ねて早や20年が過ぎました。私なりにこの20年を振り返ると「昨日の我に今日は勝つ」という言葉に行きつきます。柳生新陰流・柳生宗厳の遺した教えで、元の言葉は「一文は無文の師、他流勝つべきに非ず。昨日の我に、今日は勝つべし」簡単に言うと、知らないことがあったら知っている人に謙虚に学びなさい。試合に勝ったといって自慢したり天狗になってはいけない。ただ自身の成長のみを目的にして、日々人格や品性を高めていきなさい。という意味です。錬心館の目指す日本一は、日本武道館にも道場にもありません。私達門下生一人一人の心の中にあります。試合に勝っても負けても日本一の道場と言われるには、この事を一人一人が心に置いて常に「唯一念」努力精進していくことの他にはありません。

最後になりましたが、後援会保護者皆さんの更なるご支援ご協力と、門下生並びにOB各位のご健康ご活躍を心よりご祈念申し上げ、年頭の挨拶と致します。



☆寒 稽 古 ス ナ ッ プ 特 集

(書いていない門下生ごめんね！)



～ お 知 ら せ ～

☆1月10日新年祈願祭終了後、昨年七段に昇段されました金井裕先生に証書の伝達並びに記念品の贈呈をさせて頂きました。



沢山の方々にご協賛頂き、誠に有難うございました。



☆入門おめでとうございます-----

さいとうようへい さるやまもも か たまいまこと
齊藤洋平 (一般) 猿山桃花 (小6) 玉井 誠 (小5)

おめでとうございます！

◎第68回全日本剣道選手権大会予選会

第3位 泉 和毅 (OB)

祝 全日本剣道選手権大会出場 (3月・長野)

第3位 長峰 龍汰 (OB)

◎第43回日本剣道少年団研修会
体験実践発表会関東大会

最優秀賞 第1位

田中 詩織 (中3) 全国大会出場



◎第43回日本剣道少年団研修会
体験実践発表会埼玉県大会

中学生の部
第1位 田中 詩織 (中3) 関東大会出場

第2位 内村 亜玖里 (中3)

第3位 日置 優里 (中3)

小学生の部
第2位 岡谷 瑚太郎 (小6)

敢闘賞 日置 大雅 (小6)

— 編 集 後 記 —

今年も宜しくおねがいします！
感染症の終息には程遠く、まだまだ予断は許せぬ毎日ではありますが、感染予防を徹底し今やれることを大切に今年も頑張りましょう！2月から53期生の入門受付が始まり、是非みなさんの口コミで門下生拡大にご協力をお願い致します。(Y)